上部消化管疾患、下部消化管疾患のため、当院で上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を受けた患者さんの内視鏡画像、内視鏡診断結果を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者　所属 内視鏡センター職名准教授
氏名　細江　直樹
連絡先電話番号 03-5363-3238
実務責任者　所属 内視鏡センター職名 講師
氏名　筋野　智久
連絡先電話番号 03-5363-3238

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの内視鏡画像、内視鏡診断結果を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「８ お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

西暦 2012 年 1 月 1 日より 2019 年 4 月 30 日までの間に、慶應義塾大学病院内視鏡センターで上部消化管疾患、下部消化管疾患、もしくはその疑いがあり診断、治療のため上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を受けた方

２　研究課題名

承認番号　20170329
研究課題名　人工知能を用いた内視鏡画像の言語化研究

３　研究実施機関

慶應義塾大学医学部消化器内科学教室・慶應義塾大学病院消化器内科・内視鏡センター

４　本研究の意義、目的、方法

近年コンピューター技術は非常に発展しており、人工知能の医療への応用も検証されています。本研究では、この人工知能を内視鏡検査結果の文書化（レポート作成）の過程に利用してより詳細で分かりやすいレポートを作成できるかを検証することを目的としています。

現在内視鏡検査結果のレポート記載内容や表現は各実施医の判断に委ねられています。人工知能を用いて記載項目や記述内容を標準化することで、より分かりやすいレポートが作成され、検査結果を理解しやすくなります。また、レポート作成にかかる時間が短縮され、検査でお待たせする時間を短くすることが期待されます。

方法は、まず当院で上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を行った方の内視鏡画像と、内視鏡診断レポートを内視鏡ファイリングシステムから抽出し、専用ソフトウェアを使って、個人情報を全くわからなくします。これらの内視鏡画像データと内視診断レポートのテキストデータを人工知能に学習させ､内視鏡画像や病名から､記載項目や記述内容を人工知能が提案するシステムを構築します。

５　協力をお願いする内容

あなたの内視鏡画像､内視鏡診断レポート結果を誰のものか分からなくさせていただいたのちに、前記の目的で使用させて頂きます。内視鏡診断レポートから使用させていただく情報は、性別、年齢、診断名、病変の部位、病変の内視鏡所見、フリー入力されたコメント、生検結果、使用した内視鏡の種類、治療内視鏡の場合その治療内容です。

６　本研究の実施期間

2018 年 6 月 21 日～2022 年 12 月 31 日

７　プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの内視鏡画像と内視鏡で診断した病名は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、内視鏡画像、内視鏡診断レポート結果の本研究目的の使用停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学病院　内視鏡センター　実務責任者　筋野 智久
電話：03-5363-3238 (直通）　　FAX：03-3353-6247
Email: tsujino1224@keio.jp